

# わが国は 世界第七位の人口

昭和五十年国勢調査を基に推計した昭和五十四年十月一日現在の人口は、一億一六三万人となっている。国連が発表している最新の世界の推計人口、すなわち昭和五十三年七月一日の人口は、四二億五八〇〇万人である。

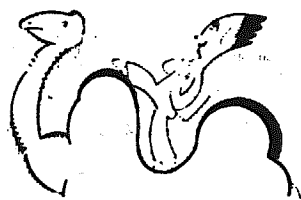
第七位である。この数年の教値によると、我が国はインドネシアについて第六位であった。この間に、ブラジルとの順位が逆転したのである。両国の最近(一九七〇―一九七八年)の年平均増加率をみると、我が国が二・二%であるのに対し、ブラジルは二・八%と高い。この間の人口増加率は、概ね日本及び欧米諸国の増加率が一%前後であるのに対し、南アジア・アフリカ・ラテンアメリカなど発展途上国を中心とした地域は二・八―三・〇%と高く、今後の世界人口の爆発的増加が問題視されている。昭和五十二年から昭和五十三年にかけて、世界人口は七六〇〇万人増加している。

## 世界人口は今後急速に増加

さて、我が国の今後の人口問題。研究所の昭和五十一年秋の推計によってみると、最近の情報は、このころを保持した曲線を描きます。これが「ふたご曲線」とか「M字型曲線」と呼ばれるもので、年齢別に見た女性の就業状態をよく表しています。

この間の人口の増加は、約二五〇〇万人と見込まれている。我が国は平野部が少ないうえに、資源が乏しく、資源や食糧などを海外に頼らざるを得ない状況にある。世界人口が今後爆発的に増加するということを併せ考える時、今後極めて大きな問題に遭遇するの不可避といっても過言ではない。これは、我々の世代から次代にかけてという、それほど遠くない時期である。これに備えるためには、今後の人口動向を正確に予測すると同時に、その人口構造が把握されなければならない。このためには、国勢調査の結果は欠くことのできないものである。

# 働く女性の ライフ・スタイル



ひと昔前までは「職場の花」といわれていた働く女性ですが、いまでは「翔んでる女」が流行語になるなど、仕事に対する婦人の意識はもろろん、婦人を見る社会の「目」も大きく変わってきています。

そうした働く女性の姿―ライフ・サイクル―の変化をわたしたちに教えてくれるのが、国勢調査の「ふたご曲線」です。女性の年齢別労働力率(十五歳以上の人口に占める労働力人口の割合)を見てみましょう。

横に年齢、たてに労働力率をとって図表化しますと、砂漠の交通機関であるラクダの背のような二つのこぶを持った曲線を描きます。これが「ふたご曲線」とか「M字型曲線」と呼ばれるもので、年齢別に見た女性の就業状態をよく表しています。

さて、今回の国勢調査では、どんな「ふたご曲線」が描かれるでしょうか。



# 筆記用具は 黒鉛筆をお使い下さい

実施されているもので、今回は十三回目に なります。

## 調査項目

男女の別、出生の年月、世帯構成、就業状態などのほか、現住居への入居時期・通勤・通学先と利用する交通手段―など全部で二十二項目。

## 調査員

調査員は本町の場合、自治会長や自治会の役員・主婦などがあつたりますので、わからない点は気軽にご相談ください。なお調査員は調査員証明書を持参しておりますので不審な場合は提示を求めてください。

## 調査表

十日までの間に、みなさんのご家庭を訪問し、調査票をお配りします。ご記入いただいた調査票は、十月一日―五日の間に調査員がお伺いしますから、その時お渡しください。

ご記入いただいた調査票は、国(総理府統計局)に集められ、そのまま光学マーク読取装置という機械にかけて集計されます。この機械は、文字がわくからはみ出したり、調査票が折れたり、曲がったり、汚れていたりすると、読み取ることができませんので、じゅうぶんに注意ください。なお、筆記用具は必ず「黒鉛筆」をお使いください。万年筆やボールペンは、たとえ黒でも絶対にご使用にならないように。黒鉛筆以外に「読取装置」が作動しません。

# 不平不満・苦情はこの機会に

行政相談は、住民のみならず、国・県・市町村・公社・公園等に對する苦情や意見、要望などの申し出に際して、行政運営に反映させることが目的です。毎年十月に行政相談週間が行われており、今年も次の日程で行われます。この機会に各行政に対し不平、不満、苦情、要望等が「ついで」に申し出下さい。

なお、十月十六日は合同相談日で、人権相談、もめごと、心配ごとなど、各担当委員が相談に応じます。行政相談、人権相談などいづれも無料で秘密は厳守されます。

# 行政相談週間

## 行政相談日程

日	時 間	会合名	場 所	相談担当者	参加者
11	午後7時~9時	座談会	板井公民館	行政相談委員	自治会各種役員
12	午前10時~12時	定例相談	役場第一委員会室	〃	一般
13	午後1時~3時	巡回相談	鳥原公民館	〃	一般
14	午後1時~3時	巡回相談	山田公民館	〃	一般
15	午後1時~2時	行政懇談会	役場議場	町議会議員、人権擁護委員、民生委員、保健委員、各課長、行政相談員、自治会長、行政相談委員、その他	一般
16	午後2時~4時	合同相談	〃	行政相談委員	一般
17	午後1時~3時	定例相談	役場第一委員会室	行政相談委員	一般
18	午後7時~9時	座談会	北場公民館	〃	自治会各種役員

# 町職員を募集 申込みは九月二十七日(土)まで

黒埼町職員を次の要綱により募集します。

- 職種及び人員
  - 一般職(男子)一名
  - 保健婦(女子)一名
- 資格
  - 昭和三十一年四月二日から三十八年四月一日までに生れた者
  - 高校卒業以上または卒業見込の者で、普通自動車免許の取得者または五十六年三月三十一日までに免許取得見込の者(男子)
  - 保健婦資格取得者または五十六年三月三十一日までに資格取得見込の者(女子)
  - 黒埼町在住者に限ります。
  - 欠格事項
    - 日本の国籍を有しない者

●禁治産者及び準禁治産者  
●禁こ以上の刑に処せられその執行を終るまで、または執行を受けることがなくなるまでの者

●申込み受付  
昭和五十五年九月八日(月)から九月二十七日(土)正午まで関係書類を持参提出すること。

●申込書は総務課にあります。

●履歴書(写真三枚添付)

●履歴書(胸上脱帽、たて四cm、よこ三cm、一枚は履歴書に添付ほか二枚には裏面に撮影年月日を記入(六か月以内のものとする))

●試験日 十一月九日(日)

●会場 新潟市立二葉中学校  
詳細は総務課人事係へ  
(7)310115